

別記様式（第6条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第20回子ども・子育て会議		
開 催 日 時		令和3年2月24日（水）	開会	13時30分
			閉会	15時00分
開 催 場 所		岩出市総合保健福祉センター 3階多目的ホール		
議長(委員長・会長)の氏名		桑原 義登 委員		
出席者(委員)の氏名		笠松 尚子 委員、掛田 梨絵 委員、寺阪 絵理 委員、□子律子委員、柏木 香三 委員、土生川 覚弥 委員、山口 万実 委員、松本 千賀子 委員、村田 実 委員、谷本 美佐子 委員、桑原 義登 委員、金川 めぐみ 委員、前田 邦子 委員、石倉 芳美 委員、松尾 宏至 委員		
欠席者(委員)の氏名		横山 美佳 委員、小川 美佳 委員、下地 咲紀 委員		
説明等のために出席した者の氏名等				
傍 聴 者		1名		
事務局職員 の 職 氏 名		子ども・健康課長 広岡 範之 子育て世代包括支援センター長 塩中 和歌子 子ども・健康課副課長 福田 勝夫 子ども・健康課係長 大谷 員恵 子ども・健康課子育て支援係長 時本 さや子 子ども・健康課主事 石橋 雄基		
会 議 事	議題	会議結果		
	① 令和3年度 保育所（園）、認定こども園等の利用定員及び利用申請状況について ② 令和3年度 学童保育利用申請状況について	「会議の経過」のとおり		
会 議 の 経 過		別添のとおり		
会 議 資 料		別添のとおり		
会 議 録 の 確 定	確定年月日			
	令和3年3月5日			

会議の経過

議題・決定又は確認事項等

【開会】

13時30分

【開会あいさつ】

岩出市 子ども・健康課長 広岡 範之

【議事概要】

議題①「令和3年度保育所（園）、認定こども園等の利用定員及び利用申請状況について」

➤ 事務局より各施設の利用定員、申込者数、利用決定者数、空き状況等を説明する。

質問① 1歳児の保留児童16名となっているが、待機児童とはならないのか。
委員A 待機児童とはどういう定義か。また、何か対策はしているのか。

事務局 ➤ 他の施設に空きがあるのに施設を限定して希望している場合
➤ 求職活動中という理由で申請しているが、求職活動を行っていない場合

➤ 育児休業を延長する場合

このような場合待機児童にはカウントしない定義となっている。対策については、各施設に1歳児の定員を増やしてもらうよう依頼したり、企業主導型保育等の案内をおこなっている。

質問② 兄弟姉妹で、上の子どもと下の子どもが違う施設を利用するのは
委員A 利便性を考えると大変である。そのような場合の配慮は。

事務局 空きができた場合は声をかけさせてもらうなど、できる限りの調整をおこなっている。また、次年度の転園を優先するなどの配慮もおこなっている。

意見① 事業所内保育を実施している施設で就労されている方の中で、事業所内の保育施設を利用せずに地域の保育所等を申請される方がいる。施設としてはなるべく多くの地域の利用者の受け入れに協力していくため、特に広域行政側の入所調整を円滑におこなっていただければありがたい。

意見② 幼稚園の現状をいうと、現在、年少児が少ない。2年くらい前に1歳児の保育施設の応募が多かったので、各施設の定員を増やして対応したという報告を以前うけた。

幼稚園としては、年度によって利用者数の増減が大きいと運営がかなりしんどい。保育所に行く理由が整っている場合は仕方ないが、休職中などの方もいるので、そのあたり行政の方で上手く調整していただければありがたい。

質問③ 施設の広さ的には大丈夫なのか。

委員D

事務局 最低基準上の面積はクリアしているが、狭い施設もある。

議題②「令和3年度学童保育の利用定員及び利用申請状況について」

事務局より各施設の利用定員、申込者数、利用決定者数、空き状況等を説明する。

質問① 4月以降保護者の就労状況にも変化があると思われるが、利用者は増加していく傾向にあるのか。

委員E また、数年先の利用状況の予測はどのように考えているのか。

事務局 1点目の4月以降の利用状況については、年間通じて継続して利用される方は4月の利用がピークで、それ以降は減少していく傾向にある。これは、学校生活に慣れてきて留守番ができるようになってくることや習い事に通うようになり退所する児童が増えてくると考えている。

ただし、夏休み、冬休み等の長期休業中の利用のみを希望する方が多く一時的に利用者は増加する。その場合の施設対応は学校の

空き教室を追加して利用させていただくなど対応しているので、待機児童が発生することはない。

2点目の今後数年先の予測については、子ども・子育て支援事業計画においても推計を出していますが、増加する見込みとはなっていない状況を予測しており定員の確保も十分対応できると考えている。

質問③ 障害児の学童保育についてはどのような状況か。

委員D

事務局

現在、市の学童保育事業においては、障害児に特化した専門的な加配指導員の配置はおこなっていない。現状のサービスの中で対応できるお子さんについては市の学童保育事業で対応しているが、地域の学童保育では対応が難しいお子さんについては、保健師または療育施設と相談しながら、保護者の方に説明し、放課後デイサービスのような療育サービス利用を促すような取り組みをおこなっている。

また、療育専門施設から専門職を派遣してもらい、各学童保育施設を巡回し、適切にアドバイスをもらう保育所等訪問事業も実施している。

質問④ 長期休暇時の学童保育の保育内容について、ゲーム機を利用させているが、それはどうかと思う。学童保育におけるゲーム機はどのように考えているのか。

委員A

事務局

同じように学童保育においてゲーム機はどうかという意見が内部からも上がっていたので、市と委託先事業者、指導員で話し合い、昨年8月からすべての学童保育施設において禁止している。

意見① 県の教育委員会でも現在、スマホ依存、ゲーム依存の対策についても協議しており、近々何らかの方針が打ち出される予定になっている。

委員D

質問⑤

委員C

事務局

市の学童保育については、シルバー人材センターに外部委託されているが、指導員はどういった方がなられているのか。

教員免許や保育士免許といった、子育て現場で働いていた方の〇

Bの指導員と全く資格を持っていない指導員がいる。

現在国の制度で、放課後児童支援員研修または子育て支援員研修をすべての指導員が修了することが義務化されている。

意見② 専門性をもった指導員が一定数いると聞いて安心した。

委員C 最近は保護者対応が難しいというのを耳にする。学童保育という組織の中では、やはり一定のルールを決めて保育していただかなければ、一部の少数方の意見だけを聞いて組織のルールを決めていくことは、本当に必要としている方に迷惑がかかる場合もある。

【その他】

会長よりその他全般について意見聴取をおこなう。

意見① 以前、市の学童保育に子どもを預かってもらっていた。その際、

委員F スナック菓子のおやつが多く、子どもは喜んでいたが、その後の夕飯のことなどを考慮していただきたかった。

また、指導員は見守っているという状況が多く、子どもにかかわっている場面が少ないような気がしていた。

カリキュラムが決まっていないのであれば、文化伝承のようなふれあいも必要でもないか。

意見② 現在、御坊市の委託を受けて学童保育事業を運営している。

委員G 国の研修以外に子どもとかかわるための独自のプログラムを取り入れている。

午前中に指導員ミーティングを開催し、前日、子どもに対し指導員がどうかかわりをしたかという振り返りをおこなっている。問題行動にどうかかわりをして、いかに適応行動をふやしていくかというようなプログラムである。

学童保育は年齢幅も大きいし、様々な家庭への支援となる事業であると感じている。

岩出市は民間の学童もあるので、今後は自治体が運営していく学童保育において質の向上が求められるのではないか。

質問① 上岩出保育所の新型コロナウイルス感染症のクラスターがきっかけだと思うが、先日突然修了式の家庭からの参加人数を1名に制限するというお知らせがあった。

委員 A 修了式を楽しみに休みなども調整していたので、何とか2名出席にならないか。

また、先生たちへの花のプレゼントについても禁止と言われているがどうしてか理由を聞きたい。

事務局 修了式の家庭からの参加人数を1名に制限させていただいた件については、感染予防という観点からご理解いただきたい。

花のプレゼントについては、市の判断において一律禁止ということではなく、各保育所と保護者会との協議において決定していることなので、十分保育所と協議していただきたい。

意見③ 私どもが運営する施設では、昨年、今年とコロナ禍の中、卒園式を市と同じように保護者1名までの参加と一方的に決定させていただいた。子どもを預かっている施設としては責任がある。

委員 C 開催方法を決定している市の方もきちんとした形で開催したいというのは保護者の方と同じ思いである。こういう状況下の中、お互い納得して開催していただきたいのでご理解してあげて欲しいところである。

事務局 市内の企業主導型保育4か所について国の内示を受けている内容を説明する。

事務局 NPO法人ネウボラロッツが運営する児童発達支援センターにおいて、昨年末に死亡事故が発生した内容を説明する。

意見④ 最近、発達に課題のあるお子さんの保護者の方で知育に興味をもち子育てに取り入れられている方が多い。

委員 C 児童発達支援センターのようなところで力をいれているのか、乳幼児健診で発達に課題があると聞いて慌ててとりいれているのかわからないが、間違った理解をされているように感じる。

乳幼児健診で子どもの発達について伝える一言が親御さんにとっては非常に重いものになるので、市の方でも十分配慮したうえ

で伝えていただきたい。

質問② 児童発達支援センターは、ネウボラロッツ以外にあるのか。また、
委員D 児童発達支援事業の状況は。

事務局 児童発達支援センターとしては、その1か所になる。那賀圏域として、社会福祉法人桃郷があり、「ひまわり園」「つぼみ園」という2か所のセンターを運営している。また、どちらも児童発達支援事業を実施している。

意見⑤ 私の子どもは重度の知的障害に伴う自閉症で、支援学校に通学し
委員H ている。言葉が出たのが5歳、奇声やかんしゃくもあった。

知育を熱心にとりいれているというご意見について、私の子の場合は、勝手に子どもが英語を覚えてきた。言葉が出ていないのに英語を話したりする。そうすると親は、好きだからと思い教材を購入してしまう。必死に教えているとかではなく、親としては興味があるならそこから言葉がのびて行って欲しいというきっかけとしてとりいれている親もいるということもわかっていただきたい。

また、市の乳幼児健診について、発達に課題ある子どもはどうしても長時間待つことがストレスになるので、その辺を配慮して時間差を設けるなどの工夫をしていただきたい。

質問、意見以上のため終了

【閉会】

15時00分閉会